

ファイナルレポート

ケルン国際ハードウェアメッセ 2016

2016年3月6日(日)~8日(火)

会場：ドイツ連邦共和国 ケルンメッセ会場

素晴らしい成果を残して閉幕

- ・ 大盛況の3日間：世界124カ国から44,000人が来場
- ・ 55カ国から2,670社が出展
- ・ 『DIY大通り』が人気集める

今年のケルン国際ハードウェアメッセは3月8日、大きな成果を残して閉幕しました。3日間の会期中、会場は終始来場者で賑わい、各社ブースでは発注に直結する商談が活発に展開されました。今回は世界124カ国から44,000人の専門バイヤーが来場、ビジネスとイノベーションのプラットフォームとして、ハードウェアメッセを十二分に活用していました。ケルンメッセのカタリーナ・C・ハマ副社長は、「ハードウェアメッセ2016が大成功を取めたのは嬉しい限りです。特に今回は、新設の『DIY大通り』がハイライトでした。各ブースも来場者で終日賑わっていました」と話しています。「今回はコンセプトを一部変更し、Eコマースなど業界にふさわしいテーマも取り入れたことで、イベントの質がさらにレベルアップし、出展者と来場者の両方に満足していただくことができました」。世界各国から訪れた専門バイヤーたちは、55カ国から出展した約2,670社のブースで、効率的な商談を展開することができました。出展者に占める海外企業の比率は86%と、例年並みの高水準を維持しています。

出展各社は来場者の数だけでなく、その専門性の高さにも大きく満足していました。中立的な出展者アンケート調査の結果もこれを裏付けています。出展者の約67%は、来場者のレベルに「満足」または「非常に満足」と回答しました。ヴォルフガング・キルヒホフ氏（キルヒホフグループ代表取締役、ハードウェアメッセ諮問委員会委員長）は、次のようにコメントしています。「ハードウェアメッセはこれまでも、そしてこれからも、私たちメーカーにとって業界ナンバーワンの見本市です。ここは既存顧客と商談する場所であり、新規取引先とのコンタクトが生まれる場所です。ドイツ国内にも、またヨーロッパ近隣諸国でも、これほど国際的に重要なプラットフォームはほかにありません。ハードウェアメッセの強みは、その革新的な展示内容だけでなく、市場のパートナーである他企業との対話にあり

ます。会期初日の日曜日に、非常に多数の来場があったことから、コミュニケーションというものがどれほど重視されているかは明らかです」。

ライナー・ラングリュデッケ氏（ドイツ工具産業協会（FWI）専務理事）も、キルヒホフ氏と同意見です。「私たちにとってハードウェアメッセは、まず第一にコンタクトの場所として重要な意味を持ちます。それは今年も十分に証明されました。当ブースへの来場も多く、頻繁に人が出入りしていました。新しい取引関係が生まれ、既存顧客とも密に情報交換することができました。協会会員からのフィードバックも非常に好意的です」と話しています。ハードウェアメッセは、出展者だけでなく、来場者からも上々の評価を得ることができました。中立的な来場者アンケートでは、回答者の 75%が「来場目的を十分に果たせた」、または「ますます果たせた」と答えています。

コンセプト変更で大きな効果

今年の総展示スペースは 144,000 m²で、前回とほぼ同規模でした。出展者の中ではドイツ企業が大幅に増加し、前回は 6.3%増となりました。ヨーロッパ勢ではフランス、英国、イタリア、スペインからも多数の出展がありました。今回メインイベントとなったのは『DIY 大通り』です。ホール 5.1 の中央に、ブースで構成される長さ 230m の「目抜き通り」が出現しました。40 社が出展し、この中には今回ハードウェアメッセに再出展した Abus、Burg-Wächter、Fischer、Mellerud、Steinel、Tesa、Westag などの大手企業も見られました。「過去の見本市と異なり、当ブースには連日相当な数の来場者がありました。これはもちろん DIY 大通りの効果によるものです。出展者からもバイヤーからも注目され、文字通り磁石のように人を引きつけていました」。新しい展示形態である DIY 大通りをこう評価するのは、ドイツ DIY・ホームセンター・ガーデニングセンター連盟（BHB）のペーター・ヴュスト専務理事です。同氏は、今回から会期が短縮された点についても肯定的です。「当連盟は、ハードウェアメッセの会期短縮は正解だと考えていましたが、日曜日にもかなり多数の来場があったことから、それが正しかったと証明されました。これを手始めに、ハードウェアメッセが今後さらに内容を充実させ、ホームセンター業界最重要の見本市として地歩を固めることは間違いないでしょう」。

E コマースが最大の関心事

ケルンメッセは、今回 DIY 大通りで国内外専門メディアでの注目度を高めましたが、このほかにも関心を集めた新しいイベントとして、SSI シェーファー社が主催した『E コマース・アリーナ』があります。会期初日、ケルンメッセはケルン流通研究所（IFH Köln）との共催により、E コマースのイベントデーの一環として「B2B - 2016 年のマーケットプ

レイス - 何が本当に重要か」というタイトルで研究結果を発表しました。これは E コマースの利用者と、彼らがどのように優先順位づけを行うかについての見識を提供するもので、売り手はこれをもとに最適の販売戦略を策定することができます。「出展者、来場者ともに、会場は非常に良い雰囲気でした。今回のハイライトである E コマースと DIY 大通りは、どちらも盛況でした。参加者はここで展示製品以外の情報を仕入れるだけでなく、業界の最新トレンドもフォローすることができたからです」。こう話すのは、ハードウェア販売業中央連盟 (ZHH) のトーマス・ダムマン専務理事で、同氏は今後もこうしたイベントに見本市発展の可能性があると見ています。「多くの来場者にとって、短期間に興味深い数多くのイベントや講演に参加し、同時に各社のブース訪問を計画するのは難しかったと思います。人気のある講演は2回に分けるなどの配慮が望まれます。今回は新しい企画やアイデアを導入したことで、ハードウェアメッセの魅力が高まりました。今後は出展者側もさらに多様化するべきでしょう」。

『EISEN Award 2016』の受賞企業

出展者は E コマースのような業界の最新テーマから恩恵を受けるだけでなく、ハードウェアメッセの国際的な注目度も大いに活用して、このイベントを自社の新しいコンセプトと新製品の紹介、また製品発表会の機会として利用しました。このほかには毎回優れた商品に授与される『EISEN Award』の授賞式も、来場者の関心を集めていました。同賞はケルンメッセが BHB と共同で授与するものです。CSR (企業の社会的責任) 部門の最高賞である『2016 EISEN-CSR 賞』は、今回 GÜNZBURGER STEIGTECHNIK 社に授与されました。一方、『2016 EISEN イノベーション賞』はケルンメッセと ZHH が共同で授与し、こちらは August Rüggeberg 社の高速ディスク “ALUMASTER®”、HAZET-WERK - Hermann Zerver 社のトルクレンチ、fischer Deutschland Vertriebs 社の “fischer DUOPOWER” の3製品に贈られました。

ケルン国際ハードウェアメッセ 2016 データ

ケルン国際ハードウェアメッセ 2016 には、55 カ国 (2014 年 : 53 カ国) から 2,673 社 (同 2,783 社) が出展、その 86% が海外からの参加でした (2014 年 : 87%)。最終日概算も含めると、今回は 124 カ国 (2014 年 : 128 カ国) から約 44,000 人 (同 43,879 人) の専門バイヤーが訪れ、このうち 63%

(同 63%) が海外からの来場でした。*

*以上の数字は Gesellschaft zur Freiwilligen Kontrolle von Messe- und Ausstellungszahlen (FKM) 社の基準に基づき算出され、公認会計士の監査を受けたものです。www.fkm.de

お問い合わせは下記まで。

ケルンメッセ株式会社

〒105-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-13-6 恵比寿 IS ビル 5F

TEL:03-5793-7770

FAX:03-5793-7771

Email:kmjpn@koelnmesse.jp

www.koelnmesse.jp

編集者の皆様へ:

ケルン国際ハードウェアメッセ2016 の写真は、弊社の写真データバンク

www.eisenwarenmesse.de „Presse “のセクションでダウンロード可能です。

プレス情報はこちらです。 www.eisenwarenmesse.de/presseinformation

記事掲載後は、弊社まで掲載誌をお送り下さい。

ケルン国際ハードウェアメッセ2016 Facebook:

<https://www.facebook.com/eisenwarenmesse>

ケルン国際ハードウェアメッセ2016 twitter:

<https://twitter.com/eisenwarenmesse>

ケルン国際ハードウェアメッセ2016 XING:

<https://www.xing.com/communities/groups/eisenwarenmesse-1073377>

ケルン国際ハードウェアメッセ2016 公式ブログ:

<http://news.eisenwarenmesse.de>